

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 38 号

第 38 週 (9月14日 - 9月20日)

発行年月日:平成21年(2009年) 9月28日

発行 :滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

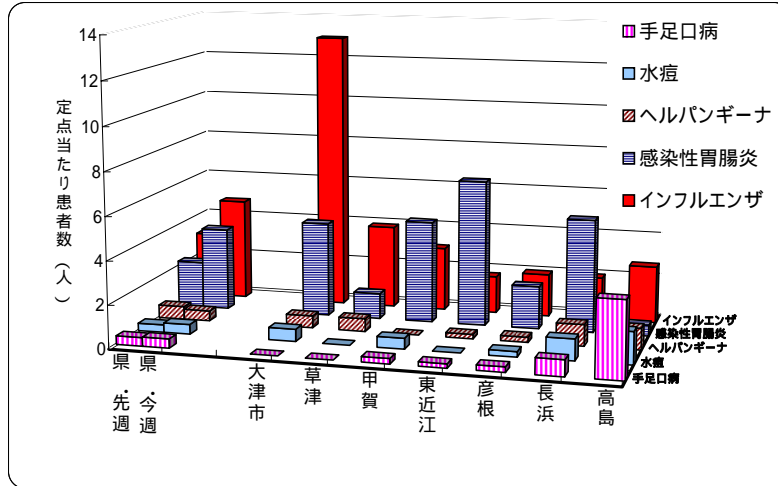
インフルエンザの発生は先週の1.5倍 新型インフルエンザの集団発生は113件(9月20現在、滋賀県)

定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週よりかなり多くなっています。今週増加した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘等で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、ヘルパンギーナ等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。インフルエンザの保健所管内別発生状況は別紙グラフに示すとおりです。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、インフルエンザでは大津市保健所管内で注意報発生基準値(定点当たり患者数 10.00)を超えています。また、ヘルパンギーナでは高島で、27週(6/29~7/5)以降11週ぶりに警報終息基準値(定点当たり患者数 2.00)未満となっています。

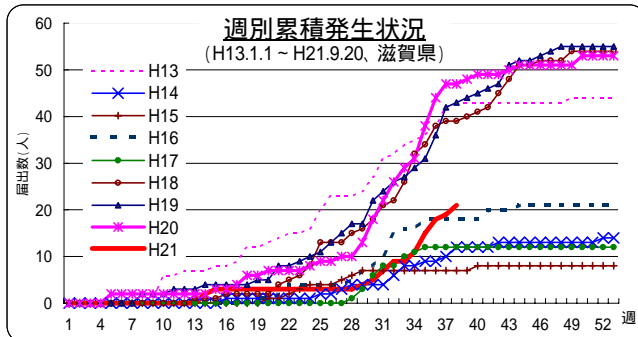
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で4名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で2名、五類感染症の破傷風で1名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第38週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、水痘、手足口病の順に多くなっています。インフルエンザの発生は県全体では先週よりさらに増加し、特に大津市で急増しています。感染性胃腸炎も先週よりかなり増加し、東近江および長浜でやや多くなっています。

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成16年~平成21年、滋賀県)



平成21年9月20日現在における届出数21名の内訳は、男性12名、女性9名、診断の類型は患者13名、無症状病原体保有者8名です。

血清型・毒素型は

O157・VT1 & VT2 10名、O157・VT2 9名、O1・VT1 1名、O不明・VT1 1名です。

年齢は

0~9歳6名、10~19歳2名、20~29歳3名、30~39歳3名、40~49歳1名、50~59歳3名、60歳~3名です。

新型インフルエンザ発生状況(滋賀県)

クラスターサーベイランスにおける新型インフルエンザの集団発生は、9月20日現在で113件報告されています。保健所管内別では、大津市57件、草津21件、甲賀4件、東近江15件、彦根7件、長浜4件および高島5件となっています。特に9月17日以降は、草津保健所管内での小学校および中学校における発生が急増しています。週別発生状況はグラフに示すとおりです(今週の発生状況参照)。

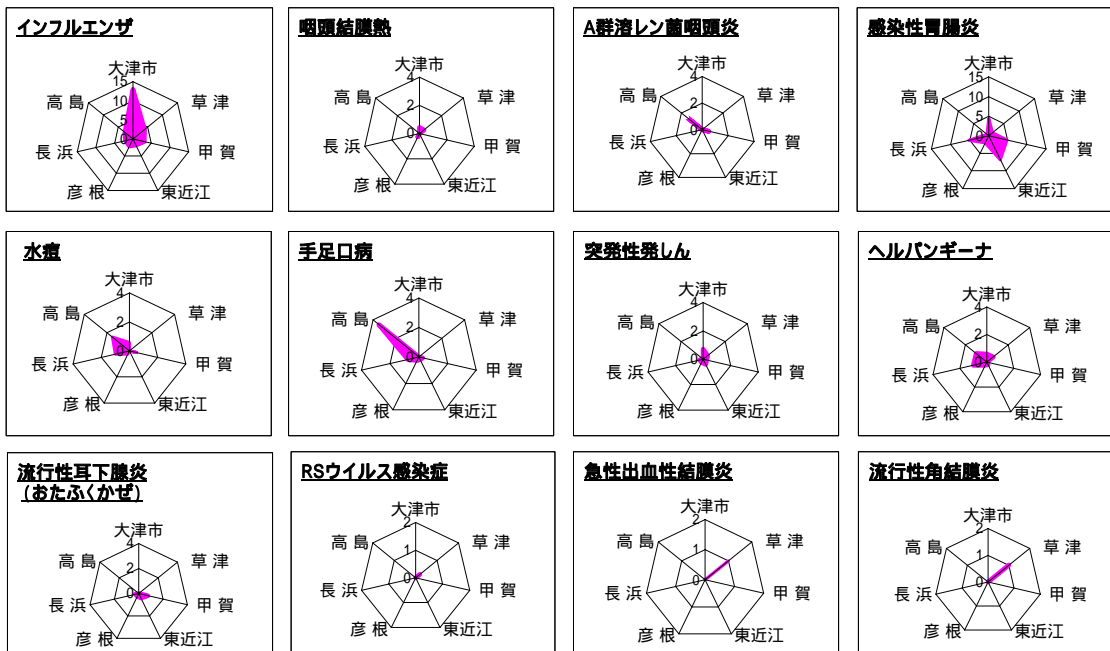
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第38週、9/14～9/20)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)									疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		
インフルエンザ	4.79	13.00	3.89	3.00	1.75	2.00	2.00	2.67		
RSウイルス感染症	0.03	0	0.20	0	0	0	0	0		
咽頭結膜熱(プール熱)	0.19	0.43	0.40	0	0	0.25	0	0		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.19	0	0	0.50	0	0.25	0	1.50		
感染性胃腸炎	3.87	4.43	1.20	4.75	6.80	2.00	5.25	0.50		
水痘	0.45	0.57	0	0.50	0	0.25	1.00	1.50		
手足口病	0.42	0	0	0.25	0.20	0.25	0.75	3.50		
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0		
突発性発しん	0.39	0.71	0.40	0.25	0.40	0.25	0.25	0		
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	0.48	0.57	0.60	0	0.20	0.25	1.00	1.00		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.23	0	0	0.75	0.40	0.25	0.25	0		
急性出血性結膜炎	0.13	0	1.00	0	0	0	0	0		
流行性角結膜炎	0.25	0	1.00	0	0	0	0	0		
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0		

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 2 4 6
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

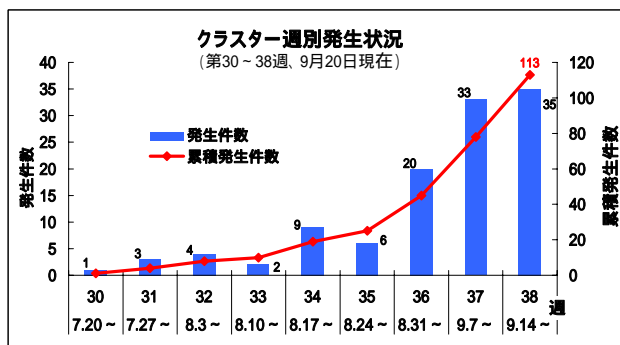
インフルエンザ-----県全体では先週の定点当たり患者数(3.08)よりさらに増加しています。特に大津市では急増し、注意報発生基準値(定点当たり患者数10.00)を超えています。

感染性胃腸炎-----高島以外で先週より増加しています。

手足口病-----県全体では先週より微増ですが、高島では急増しています。

新型インフルエンザにおけるクラスター(集団発生)の週別発生状況

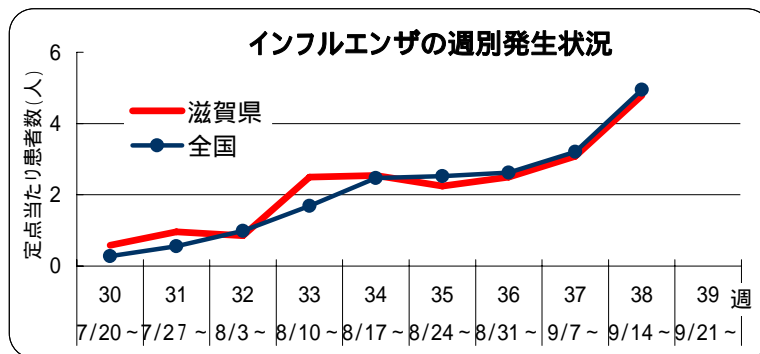
- 第30～38週、H21.7.20～9.20、滋賀県 -



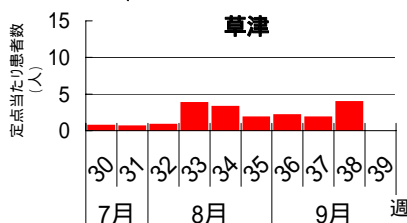
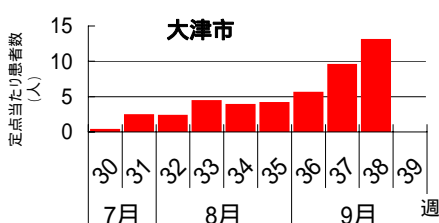
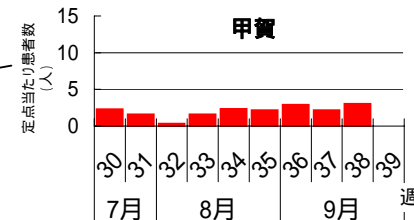
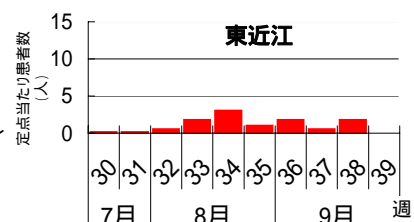
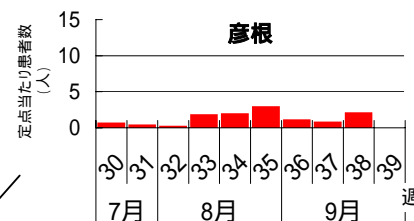
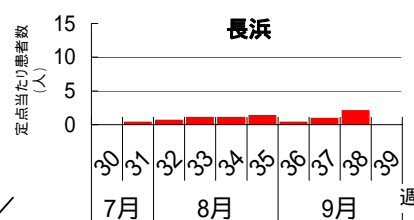
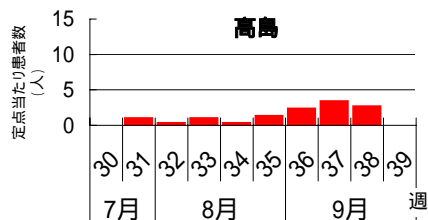
トップページに
戻る

滋賀県における保健所管内別インフルエンザの発生状況

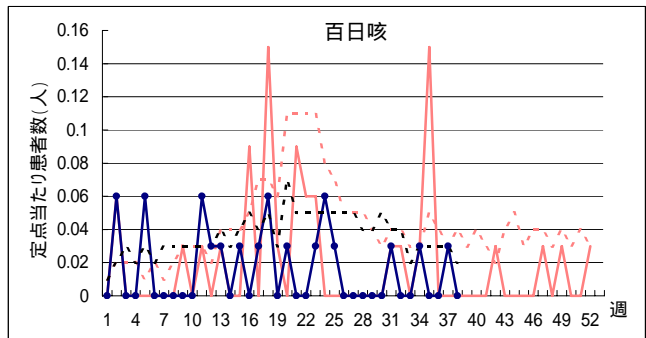
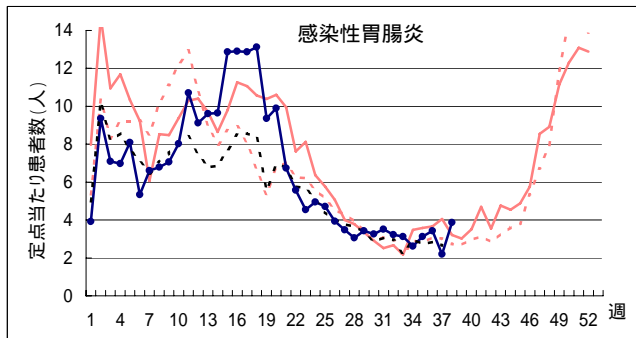
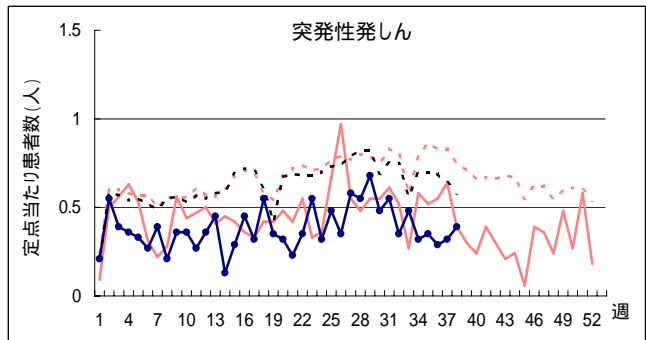
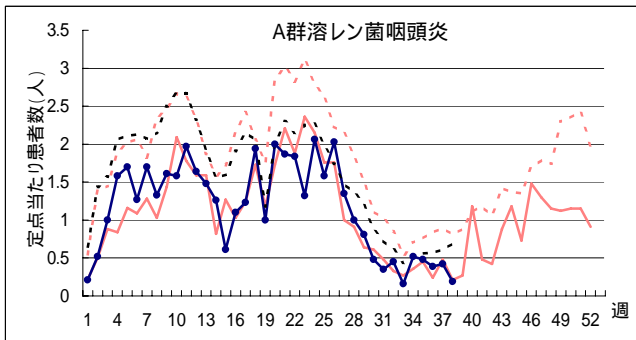
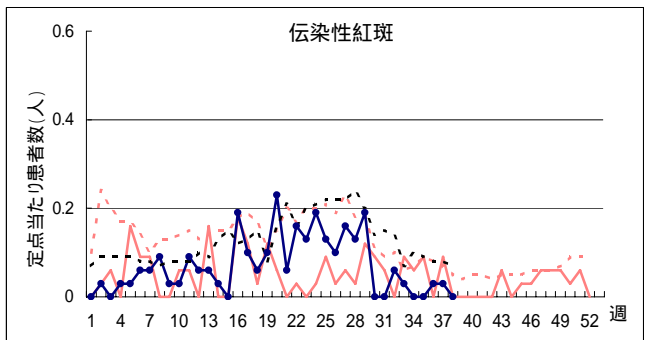
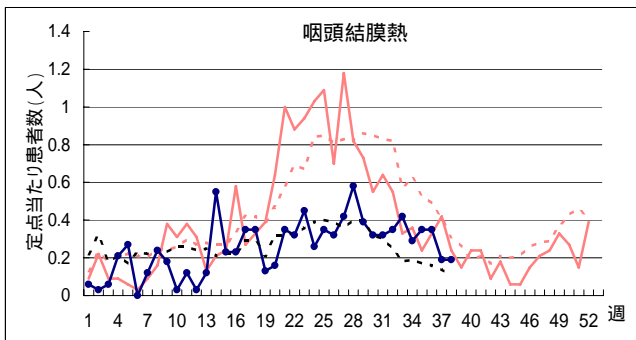
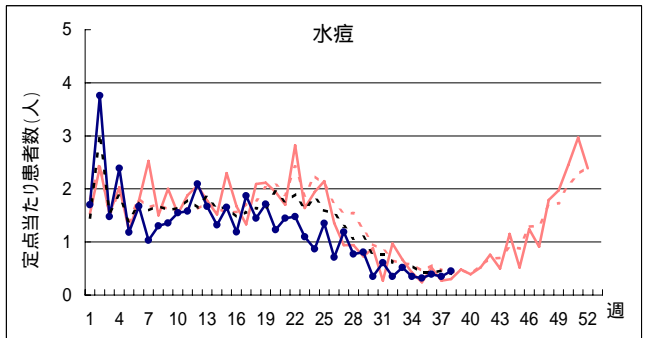
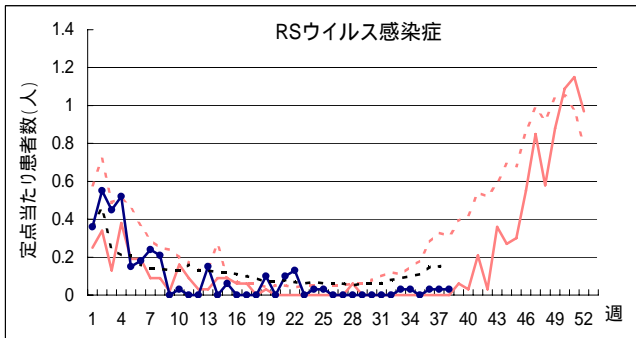
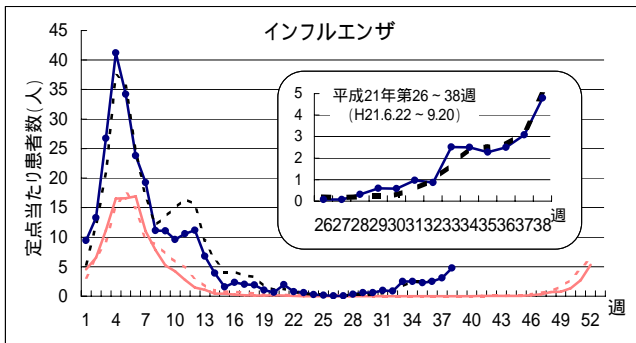
滋賀県・週別発生状況



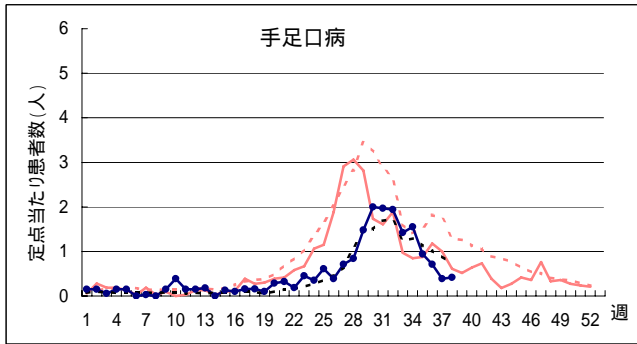
保健所管内別・週別発生状況



疾病別定点当たり患者数(平成21年第1~38週、H20.12.29~H21.9.20)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第1～38週、H20.12.29～H21.9.20)



H20
 { 滋賀 ————
 全国
 H21
 { 滋賀 ————
 全国
 週

